

法音

今月の
ご法話

心から笑いましょう

日蓮宗

法音寺

令和2年

7月号

No.609

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音 令和2年7月号 No.609 目次

【信仰の指針】 明朗 めいろう 明るさは前に進む力です 1

【朝のこない夜はない】

心から笑いましょ 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 15

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 16

◆ ほうろく加持・虫封じ祈禱のご案内 18

◆ 仏教まんが・お墓参り 19

◆ お墓とは 27

◆ 知つているようで知らなかつた!? 法音寺のこと⑦ 32

◆ 寺号公称七十年に思う 36

◆ お寺の本棚 44

◆ のりのね体験 46

◆ 支院だより 52

◆ 感謝の手紙 56

◆ 福祉のひろば 59

○ 幸せのお手伝い 60

○ 昭徳会よりお知らせ 62

○ 日本福祉大学・鈴木修学先生の墓参を執り行いました 66

◆ 幸せの種まき／編集後記 68

◆ 連載まんが・ひまわり・90 無駄と無理 69

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 69

◆ 法音寺物語 69

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・あじさい

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～15頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

明めい朗ろう

明めいるるはは前まへにに

進しんむむ力りきでですす

目め教きょう五ご





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

心から笑いましょ

一時期、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、行政の休業要請の対象外の店にまで「なぜ営業するのか」と抗議する人達がいきました。外出を楽しんでいる人を見かけると、警察に通報する人もありました。

マスコミなどでは、こういう他人の行動を監視する人達を「自粛警察」と呼んでいました。病気の蔓延によって人間関係までも蝕まれていくのは避けたいものです。苦しい時、つらい時程、私は人間同士の潤滑油として笑いやユーモアというものが必要だと思えます。

第二次世界大戦中、ナチスのアウシュヴィツ強制収容所に入れられ、そこから奇跡的に生還し、その体験を『夜



と霧』として発表した精神医学者ヴィクトール・フランクルは著書の中で「ユーモアは自分を見失わないための魂の武器だ」と言っています。フランクフルは仲間達に、毎日、義務として最低一つは笑い話を作ることを提案しました。それも、「いつか解放され、ふるさとに帰ってから起こるかもしれないことを想定して笑い話を作るように」と。

ある仲間は、「ここを出て夕食に招かれた先でスープが給仕される時、ついうっかりその家の奥さんに、作業現場で昼食時にカポー（収容所の監視役）に言うように、豆が幾粒か、できればじゃがいもの半切れがスープに入るよう、『底のほうからお願います』と言ってしまふんじゃないか」と言って皆の笑いを誘ったそうです。

あのアウシュヴィッツの中で笑いがあったというのは大変な驚きですが、極限の状況下だからこそ笑いが必要だったのだと思います。



笑いやユーモアは前を向く力、明るさを生み出します。

御開山上人に次のようなエピソードがあります。

日本福祉大学の前身である中部社会事業短期大学設立にあたって、御開山上人は「学生からの授業料はできるだけ安く、教職員の給料は国公立大学並みに高くする」と公約されました。これは志の高い学生、優秀な教職員を集めるためでした。大学経営にあつて大いに期待されていたのが、当時の厚生省を通しての国庫補助でした。しかし補助金は全く支給されませんでした。朝鮮戦争勃発によって連合国側から自衛軍を作るよう要請された結果、政府は社会保障関係費を削減せざるを得ず、その影響をともに受けたのです。大学の設立と維持が、杉山先生の遺志を受け継いだ御開山上人の悲願でした。御開山上人は信徒の念願であった新本堂建立資金や供養金など寺の蓄えのすべてを大学運



営につぎ込まれました。しかし、それでも足りず、銀行から借入れをし、時に約束手形を振り出されました。その事情を知った信徒の中には居ても立ってもいられず、山林や田畑を売ったお金を風呂敷につつんで御開山上人に届けた方があったそうです。

開学から4年目の昭和31年の暮れ、法音寺の本堂で職員員の忘年会が開かれました。資金難は解消されず、楽しいはずの忘年会に重苦しい雰囲気は漂っていました。その会の冒頭、挨拶に立った御開山上人は「大学の財政は今や火の車です。しかし、火の車は回るところが妙であります」とからりと言われ、一同大爆笑となったといえます。こういう場ではなかなか言えることではありません。この物を苦にしない明るさが日達上人に引き継がれ、後の大学の発展につながっていったと私は思います。



皆さん御存じのものまねタレントのコロッケさんは、あ
る疑問をずっと心の中に持っていたそうです。それは、自
分は人の役に立っているのだろうか？ということ。こ
の悩みに変化があったのが東日本大震災後に石巻を訪問し
た時です。

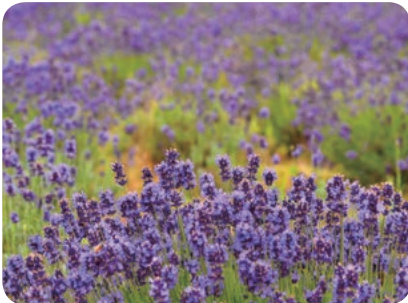
居ても立ってもいられず、コロッケさんは震災から十日
後に救援物資を持って、現地に入りました。避難所となっ
た体育館で、一般のボランティアに混ざり、炊き出しの手
伝いをしていた時、列に並んでいた年配の女性が、コロッ
ケさんを見つけて声をかけました。

「なんかやってよ」

「いや、今は大変な時ですし」

「私、もう十日間も笑っていないの」

こんなやりとりの後、コロッケさんは、やっていいのだ
ろうか？と思いつつ、恐る恐る森進一さんの『おふくろさ



ん』のものまねをしたところ、近く^{ちか}にいた人^{ひと}も笑^{わら}ってくれ、小さな笑^{わら}いの輪^わがそこにできま^しました。すると、次々^{つぎつぎ}に「こっちでもお願^{ねが}い」という声^{こゑ}があちらから上^あがりました。震災^{しんさい}から十日^{かご}後の緊張^{きんちやうかん}感^{かん}の張^はりつめた避難^{ひなんじよ}所に、笑^{わら}いによつてあたたかな空^{くう}気^きが流^{なが}れはじめたようにコロッケさん^{かん}は感^{かん}じました。そして、その光景^{こうけい}を見^みて、ああ、このために僕^{ぼく}はものまねをやつていたんだ。ものまねで笑^{わら}つてもらうのは僕^{ぼく}の使^し命^{めい}だ」と確^{かく}信^{しん}したそ^うです。

その後^ご、コロッケさん^{さん}はより力^{ちから}強^{つよ}く救^{きう}援^{えん}活^{かつ}動^{どう}をしておられるのですが、ある避^ひ難^{なん}所^{じよ}での話^{はなし}です。

「コロッケが来^きたよ」と聞^きいた人^{ひと}が、「コロッケ」と叫^{さけ}びながら、コロッケさん^{さん}の方^{ほう}へ走^{はし}つて来^きました。そして、コロッケさん^{さん}を見^みるなり「なんだ、あんただったの」とひと言^{ひとこと}。その人^{ひと}は食^たべるコロッケを求^{もと}めていたのです。それ以来^{いらい}、コロッケさん^{さん}は被^ひ災^{さい}地^ちを訪^{むと}ずる際^{さい}に必^{かな}らず本^{ほん}物^{もの}の食^たべ



るコロッケを持参しているそうです。

「さつこん 昨今、わら 笑いは体に良いということで、いりょうげんば 医療現場でも笑いを活用しているお医者さんが少なくないと言います。笑うと癌や糖尿病・高血圧などの生活習慣病の予防や改善につながり、笑うことで何よりも心が強くなって、前向きに生きる活力が出てくるのだそうです。」

61歳で真打に昇進した遅咲きの落語家・立川らく朝さんは内科のお医者さんでもあります。らく朝さんが落語家になって間もないころ、慶應義塾大学病院の内科に勤務していました。ある日、看護師長さんから「ぜひ病院の研究会で落語をやって欲しい」と頼まれました。どんな研究会か聞くと、「癌性疼痛研究会」とのことでした。癌は進行すると骨転移などで激しい痛みを伴うことがあります。その痛みをどう緩和ケアするかを勉強する会でした。「でも、



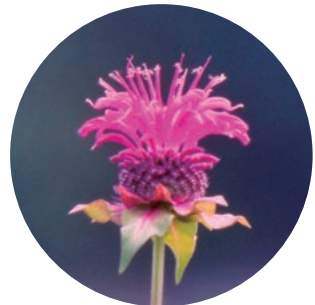
どうしてそこで落語をやるのか」と尋ねると、看護師長さんは言いました。

「現場に行くとは私達は笑顔がなくなっちゃうの。でも、患者さんのためにも私達に笑顔がなくなったら駄目なの。だから、らく朝さんに時々笑わせてほしいの。お願い」

この趣旨に大いに賛同したららく朝さんは、快く引き受けました。

いよいよ初日、指定された教室のドアを開けると中は真っ暗。スライドを映しながら症例報告の真っ最中です。演題を見てびっくり。「最期まで救済し得なかった癌性疼痛の一例」というこれまた暗い演題で、教室全体もドヨーンとした雰囲気です。らく朝さんは思いました。こんなところで落語をするのか：ヾ

症例報告が終わると教室が明るくなりました。しかし、雰囲気はドヨーンとしたままです。そこで看護師長さんが、



幽霊が出そうな声で言いました。

「では、らく朝さん、どうぞ落語をお始めください」

らく朝さんはその雰囲気にもげず、病院のスタッフや患者さんのために必死で落語をやったところ、大ウケし、大好評だったそうです。らく朝さんの言葉です。

「患者さんの闘病のストレスを少しでも和らげ、前向きに生きる活力を生み出すのに笑い程効果のあるものはありません。笑っている時は誰でも幸せな顔をします。笑うと幸せになるんです。笑っている時は誰でも麻薬中毒患者になるんです。物騒な物言いですが、あなたがち外れてもいません。笑うことによって脳の中にβエンドルフィンという物質が分泌されるんです。これが麻薬と同じ物質なんです。βエンドルフィンは脳内麻薬ともいわれ、実際に本物の麻薬であるモルヒネの何倍もの鎮痛効果があるのです。またβエンドルフィンは強烈な幸福感をもたらしてくれます。



こんなすごい物質が笑うと脳内にどんどん出るので。みんな幸せな顔になるのは当然のことなんです」

以前、法音寺で講演をしていたいただいた医師の高柳和江先生は「笑医塾」という塾の塾長をしておられます。高柳先生は「病院にこそ、そして医師にこそ笑いは必要だ」と言われました。患者さんやその家族は病気を抱えて不安な気持ちで病院を訪れます。そういう人達にとって、医師のやさしい言葉や笑顔は、この上ない安心となるからです。「心配いりませんよ」「大丈夫ですよ」「安心してください」と笑顔で語りかけられれば、自ずと患者さんの免疫力も上がります。

私はお寺も同じだと思っています。法音寺にいられたら、もう安心だと思っただけのように、私達が信者さんに接しなければと思えます。



高柳先生が最初に「笑い」の「医力」を知ったのは、中東のクウェートで働いていた時だそうです。日本人に比べて、クウェートの患者さん達の怪我や病気の治りが早いことに気づき、やがて何が違うのか、わかったのです。クウェートの病院では、患者さんもお医者さんもみんな笑顔だったのです。

高柳先生が一番影響を受けたのが、インド生まれで小児外科医のリラ・カピラ先生でした。カピラ先生は小児外科発祥の地であるイギリス・ロンドンの小児病院で活躍し、勲章をもらう程のすぐ腕の医師でした。

この先生が患者さんに対して、大げさに見えるほどの表情を作って、ニコツと笑いかけるのです。新生児にまで笑いかけるカピラ先生に高柳先生が、新生児には通じないのでは？と思って見ていると、新生児も笑うのです。それだけではありませんでした。その親や看護師さん達までみん



な笑っているのです。お互いに笑い合うことで心が通じ合うのです。

高柳先生は言われます。

「笑いは人間を最も幸せな気持ちにしてくれるものです。中でも古代ギリシアの哲学者・アリストテレスの言う『エウダイモニア』的な笑いが大事です。これは、合理性もたらす幸福」という意味です。享樂的な笑いではいけません。心から笑えないのです。生き甲斐を感じた時に出る喜び、それに伴う心からの笑い、一生懸命努力した後に出る笑顔、感動した時の微笑み、こういう笑いが大事なのです」

近年アメリカで、生き甲斐があつて心から笑える人は免疫能力が高まり、ウイルス性疾患にかかりにくい遺伝子が発現するというデータが発表されています。

皆さん、ぜひお題目を唱え、三徳を実行して、その喜びの笑顔で新型コロナウイルスを成仏、終息させましょう。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所で

三徳の教えを聞くことができます。

是非ご参詣いただき、

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

岐阜支院	7月4日(土)	福山支院	7月12日(日)
四日市支院	7月13日(月)	東京支院	7月18日(土)
大阪支院	7月26日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-20069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	5日・12日・18日・25日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	5日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・25日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・12日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・12日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・12日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	5日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	12日・23日・26日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	18日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	5日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	11日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	5日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	19日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・12日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	11日・26日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	4日・19日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	11日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	5日・15日・19日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	12日・26日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	12日・26日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・19日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	12日・18日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	13日・26日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

ほうろく加持 虫封じ祈禱

二令
年和

昔から頭痛は「悪鬼」の障り

子どもの体調不良は

「瘡かさの虫」が原因と

言われてきました

ほうろく加持は

頭痛除けと暑気払いのため

虫封じは、子どもが

健康に過ごすため

大人も子どもも

夏を乗り切る元気を

いただくとご祈禱です

- 中国(福 山): 7月12日(日)
- 関東(東 京): 7月18日(土)
- 東海(名古屋): 7月19日(日)
- 関西(大 阪): 7月26日(日)

※お寺に来られない方もタオルや衣類などで
ご祈禱いたします。

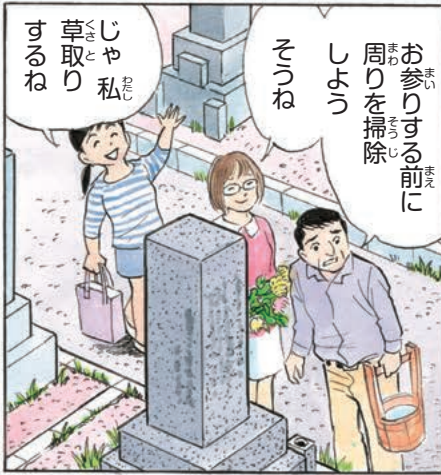
※どなたでもお受けいただけますので、ぜひ
ご参詣ください。

※お問い合わせは最寄りの支院・布教所まで。



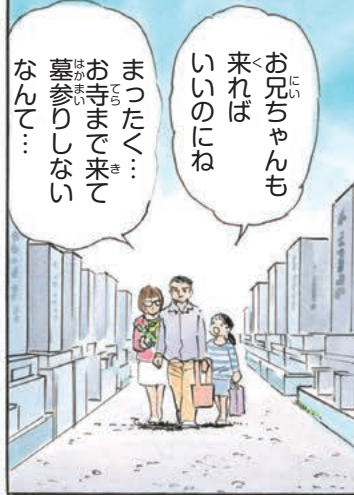
は か ま い
お墓参り





じゃ私
草取り
するね

お参りする前に
周りを掃除
しよう
そうね



お兄ちゃんも
来れば
いいのにな

まったく：
お寺まで来て
墓参りしない
なんて…



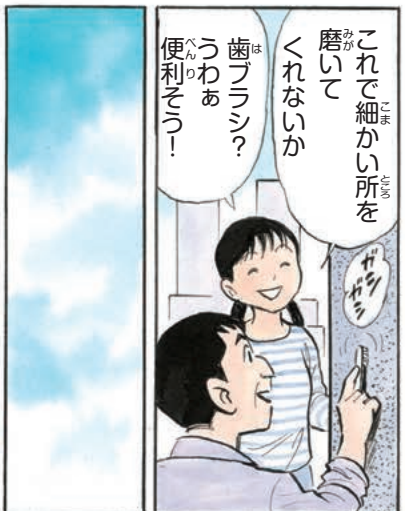
うむ
そつだな

お父さん
次は
何しようか

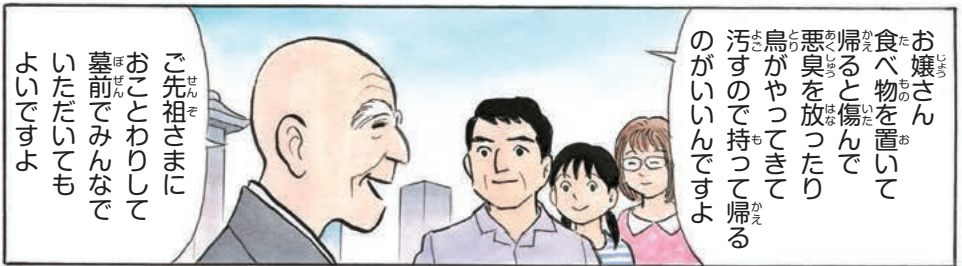
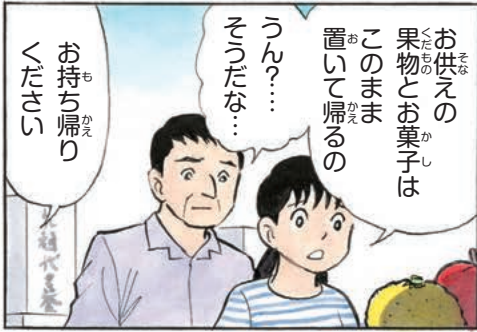


じゃ私
ろうそくと
線香を
つけるね

じゃ母さん
花とお供えを
たのむよ



これで細かい所を
磨いて
くれないか
歯ブラシ？
うわあ
便利そう！

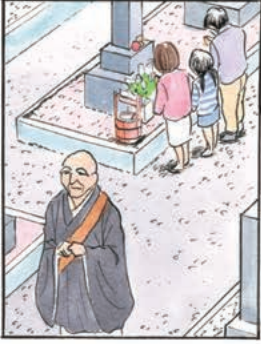




橘さん
ご家族で
お墓掃除して
お参りしていただき
ご先祖さまも
さぞお喜びだと
思いますよ



どうして
どうして
ありがとうございます
どうも



どうして一緒に
お参りせずに
ここに?



ん?

キミは
あの橘さんとの
息子さんだね

はい



お墓参り
なんて
どうしてするのか
わかりません

ただの石に
手を合わせても…
と思っ



お墓の中には亡くなられた
キミのご先祖のお骨が
入っているんだ

先祖や故人が
成仏し 安心して
過ごせるように
冥福を祈るとともに…

キミ達子孫のために
代々生命をつないできた
ご先祖さまに感謝を
伝えるんだよ



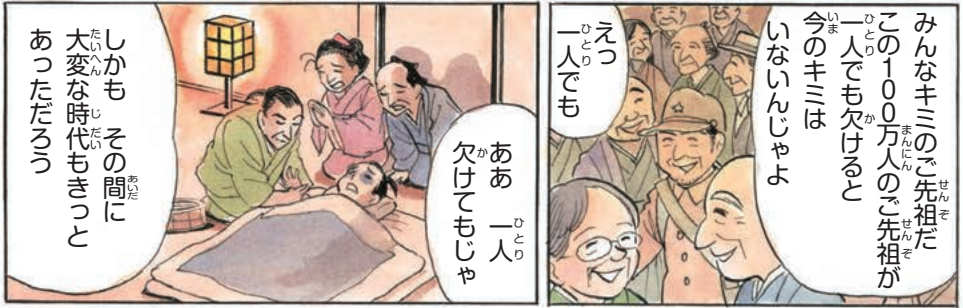


あー聞いたことあります
20代遡ると100万人の
先祖がいるって話

おーよく
知っておるなあ

お父さん
お母さん
おじいちゃん
おばあちゃん

そのあとは…
もうボク
知らない人ばかりだ



みんなキミのご先祖だ
この100万人のご先祖が
一人でも欠けると
今のキミは
いないんじゃないよ

えっ
一人でも

ああ 一人
欠けてもじゃ

しかも その間に
大変な時代もきつと
あったらどう



干ばつ・冷害
飢饉や疫病に戦争
食べる物もなく
寒さに凍える時代には

わが子のために自分の命を削り
ご先祖さまはキミに
生命をつないでくださったんだよ



そうじゃ
その感謝の心が
大切なんじやよ



すげいですね
ご先祖さまは…
ありがたいです

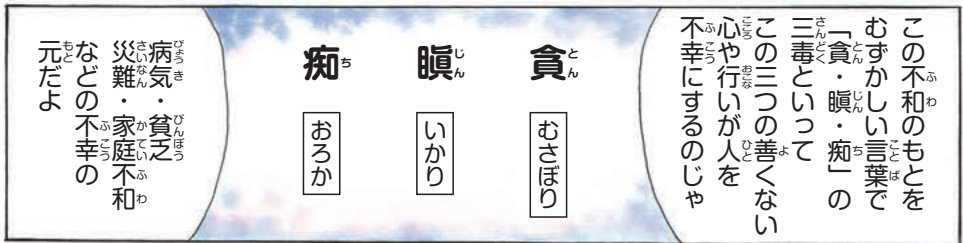


家庭の中に一人でも
自分のことばかり主張したり
怒ってばかり
愚痴ばかり言う人がいたら
ケンカが絶えないだろう

そうですね

うるさいな！
ボクはボクの
すきなように
やるから
ほっとしてくれ

なに〜
ここまで一人で
大きくなったよつな
口をきくんじやない！



この不和のもとを
むずかしい言葉で
「貪・瞋・痴」の
三毒といつて
この三つの善くない
心や行いが人を
不幸にするのじや

貪

むさぼり

瞋

いかり

痴

おろか

病氣・貧乏
災難・家庭不和
などの不幸の
元だよ



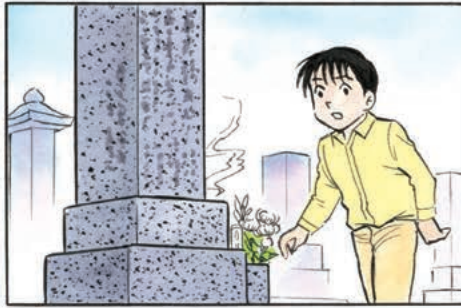
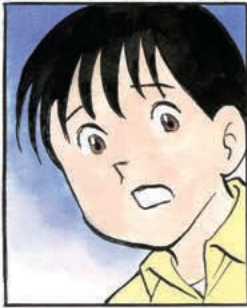
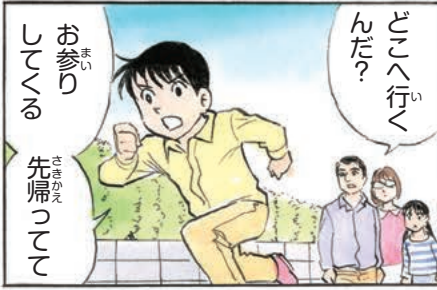
ボク 今から
お墓参りして
きます

そうか
じゃ 一つ
いいかな…



お上人さま
感謝の心があれば
三毒の行いを
することなく幸せに
暮らせるってことですね

そのとおりだ
お墓参りをする
感謝の心が育つ
のじやよ



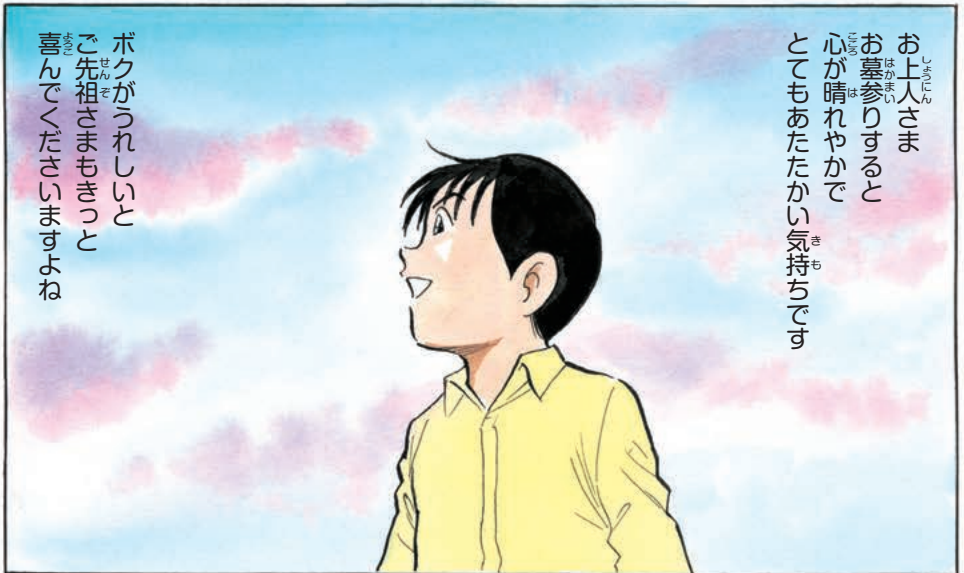


お勢の大勢の
ご先祖さまは
キミが常に幸せで
あるようにと
願っているのだよ



お父さん
お母さん
おじいちゃん
おばあちゃん
ありがとう
ご先祖さま

ボクは
思いうかべた：
会ったこともない
ご先祖さまにも
感謝していた



お上人さま
お慕参りすると
心が晴れやかで
とてもあたたかい気持ちです

ボクがうれしいと
ご先祖さまもきっと
喜んでくださいますよね

お墓とは

お墓は、ご遺骨を安置する場所。命ある者はすべて亡くなり、永遠の眠りにつく所がお墓です。また、亡き人を偲び、家族・親族・知人達が訪れ、時には集って、故人の思い出を振り返りながら、生きている私達が、心の安らぎを得る場所でもあります。

お墓参りの意義

お墓参りは、日々の生活を先祖に報告し、感謝するとともに、先祖の冥福を祈るためにするのです。

「故人の冥福を祈る」

生前、自分を慈しんでくれた家族が、安心して過ごせるようにと願う気持ちは、どなたにもあると思います。特に身近な人にほど、強く恩を感じます。今生きている人



からの恩に感謝するだけでなく、亡くなった人々からもより多く恩を受けています。亡くなった人々に報恩感謝を捧げるといっのは欠かせないのです。

「ご先祖さまに感謝」

両親・祖父・曾祖父と20代遡ると、100万人を越すご先祖さまがいます。そのご先祖さまが一人でも欠けると、今、私はここにいないということなのです。このことに気づくと、感謝せずにいられません。お墓参りをし、ご先祖さまに手を合わせることは、感謝の心を養うことなのです。

木に例えると、先祖は根、我々子孫は枝葉です。根がしっかりしていると、枝葉である我々も栄えるのです。

「感謝の心ができれば、幸せに暮らせる」

家庭の中で、欲を出して自分のことばかり主張する人がいると、ケンカになります。また、よく怒り、愚痴ばかり言う人がいると、家庭は楽しくありません。これは「貪(とん)・瞋(じん)・痴(ち)の三毒(さんどく)による結果です。三毒は、病気

・貧乏・災難・家庭不和などの不幸せの種類です。この三毒の行いは、家族の中で出やすいものです。感謝の心があれば、わがままや怒りや愚痴は少なくなり、家族が幸せに暮らせるようになります。そのために、お墓参りをして感謝の心を育むのも一つの方法です。

「お墓参りは、いつ行くのですか？」

年末年始、お彼岸、お盆、ご命日というのが一般的に思われますが、ご先祖さまや、身近な亡き人に感謝を捧げに行くのですから、いつといつことなく、いつでも訪れましょう。

「お墓参りの作法・掃除」

家族揃って行くことができれば申し分ありません。お墓に着いたら、まず墓前で合掌し、その後、お墓の掃除をします。雑草を抜いたり、ほうきで掃いたり、水を汲み、



スポンジやタオルで水洗いをし、細かい部分は歯ブラシなどで磨くときれいになります。最後に、水鉢を満たし、お花やお供えをして、灯明・線香をつけてお参りします。

たとえお経が読めなくても、「南無妙法蓮華經」とお題目をたくさん唱えて礼拝しましょう。

お供えしたお菓子や果物は持ち帰りましょう。

食べ物置いて帰ると、傷んで悪臭を放つたり、鳥や動物がやって来てお墓が汚れてしまいます。

また、ご先祖さまにおことわりをし、お墓の前でみんなで一緒に食べるのも楽しいですね。

お墓の豆知識

「お墓は永代使用」

よく「お墓を買う」と言いますが、実は墓地は借り物なのです。霊園に永代使用料



を払って墓所を借り、その上に墓石を設置します。お墓をお守りする人がいる限り、その場所を使うことができます。ただし、霊園全体を管理するための、管理料が別に必要となります。

都合によって、お墓を閉じる場合は、墓石を撤去し、更地にしてお返しします。

安置されていたお骨は、お寺に納骨する方法もあります。また永代供養をして末永くお寺で追善供養をしてもらえばより安心です。

「お墓を受け継ぐ」

お墓は民法では、お仏壇と同じように「祭祀財産」の一部です。「祭祀主催者（名義人）」が亡くなった時は、祭祀主催者の名義変更の手続きをします。次の世代に祭祀財産が継承されることを「祭祀の承継」と言います。

お墓を継承する人は「本家」と呼ばれ、ご先祖祀りをし、家を守っていきます。お墓には、祭祀を承継する人（夫婦）が代々祀られます。一般的に長男が多いようです。この場合、他の兄弟は、新たに分家を作って子孫を増やします。女性は嫁ぎ先のお墓に入るのが一般に伝えられています。



知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと⑦

～ 関東大震災① ～

たつ（杉山辰子先生）は、長年積み重ねてきた修行や功德によつて得た神通力で、未来に起きるであろう出来事をいろいろ予見していました。目を病み、一時失明状態を経験して以来、予知能力は冴えわたったといえます。特に大勢の人々を巻き込む悲惨な出来事は何とか回避したいと力を尽くしましたが、それを受け止める人はあまりにも少なかったのです。

たつは焦っていました。この一、二年のうちに関東地方に大

災害が起きることを予知したからです。

「予言するからには、国民を災難から救わなければならない。なんとか大難を小難にしなれば…」

まずは、関係各省庁に出向いて、大災害が起きることを力説しましたが、本気にする者はだれもいませんでした。

「学問的な裏付けでもあれば話を聞かぬわけでもないが…」

連日、方々に出かけて話をしましたが、これといって手ごたえは得られません。

「このまま災害が起きれば、多くの人命が失われてしまう。私は前もってそれを知りながら救うことができない…」

たつは仏教感化救済会の信者とともに三徳の実行を重ね、布袋に米を詰めて、貧しい人々に配りました。毎日の唱題行にも一層熱がこもり、信者が交代で上京しては、災難防止のお

札を家々の門口に貼りました。各地で講演会を開いたり、唱題をしながら町の小道の奥まで歩きましたが、法に耳を傾ける人の少なさを実感するだけでした。

大正12年の夏、いよいよ近いと判断したたつは最後の手段として新聞社に掛け合い、大災害の発生を新聞紙上で公表してもらおうとしました。

「それは報道できません」

「なぜですか。大勢の人が死ぬんですよ。私は人の命を救いたいだけです」

「あなたの気持ちはよくわかります。しかし、人心を惑わす行為となり、罰せられるのです」





もはや打つ手はなくなりました。

8月16日、名古屋に帰る日が来ました。東海道線の夜行列車に乗るために品川駅のホームに立ったたつの目に東京の街の明かりが映りました。

『あの明かりの下では今、家族が楽しく食卓を囲んでいるだろう…』

災難が起きることを知りつつ、それを防ぐことのできない我が身の不徳を悲しみ、深く頭をたれて東京の人々に詫びた後、たつは車中の人になりました。

そして、9月1日、たつが予見した地獄のような状況が現実となって関東地方を襲うことになるのです。

参考文献



『安立行』(下)

寺号公称 七十年に思う



時を一旦、終戦直後の昭和20年に戻します。戦争が終結しても、世の中に平和が戻ってきたわけではありませんでした。街は荒廃し、戦傷者や浮浪者であふれていました。進駐米軍に物乞いし、仲間同士奪い合い、飢餓地獄そのもの。さらに、外地から続々還る引揚者達もいて、国内が一層窮していく中、人々の心はすさむ一方でした。

「この先日本はどうなるのだろうか…」

「法華経によって世を感化し、救済する」という師の教えを実行する。



「形はどうあれ、とにかく法華経を広めなければ
ならない。」

それによってこの混迷する日本を救わなければ…。

そのためにできることなら、何でもする」

貧困・病い・争いの苦しみにあえぐ人々に本当の
幸せを与えることが、杉山辰子先生の遺命でした。

御開山上人の実践は、先生に対する絶対的な信頼か
ら出発したもの。先生が法華経・日蓮聖人を信奉して活動の礎としたように、〃自らも釈
尊及び日蓮聖人の宗教を根幹とすべき〃という信念に従い、御開山上人は日蓮宗の僧侶と
なる道を選ばれたのです。

昭和21年11月、御開山上人は出家得度。昭和22年2月、第二代会長・村上齋先生がご遷
化され、第三代会長に就任すると直ちに日蓮宗昭徳教会を立ち上げられました。



再起の態勢を整えると、各地方に待機していた信徒のグループも呼応して一斉に立ち上がり、代表が懇請に来たと
います。

「一日も早く講話会を再開してください」

三徳宣布再燃の種火ともいうべき頼もしい信徒達が全国に多数残っていました。そして誰もが渴仰の思いで、三徳再開の日を待ち焦がれていたのです。

「もう一度やり直しましょう。再出発に向けて頑張りました」

御開山上人は晴れやかな笑顔でそう言われました。



昭和25年7月20日、昭徳教会が将来、各地区に広がっていくことを想定し、その布教拠点の本山となるべく「大乘山法音寺」と寺号が公称されました。

今からちょうど七十年前のことです。

その後、極めて短期間のうちに本山・法音寺を含め26の寺院・教会を開設し続けた御開山上人。その行動力と信徒牽引力には驚かされますが、その奥に潜むのは各地の信徒のただならぬ法華経・法音寺三徳への渴望にほかなりませんでした。人々は一心に御開山上人の説法とその功德の力による濟度を求めたのです。

そもそも法音寺三徳の広がりには人にあります。それは各地寺院の設立にいたる歩みを見れば明らかで、そこにはさまざまなドラマがあります。

杉山先生・村上先生から直接教化を受けていた人々
家族を失った悲しみを、教えによって乗り越えた人

大病を繰り返す子どものために修養を続けた人
空襲が続く中、故郷に疎開して教えを広め続けた人
外地から引き揚げ後、教えに支えられた人
妻から教えを伝え聞いて信仰を深めた人
嫁ぎ先で人々の相談を受けていた人
わが子に教化された人など…

人々が各地で法座を始めると

〳〵この教えは他とは異なる…〴〵

一人の信仰心がまわりの人の心に響き…

やがて人々の求道心は燃えさかり



自分達だけの修養道場を求める心につながっていったのです。

時に地位も財産もなげうって奔走し

ある人は土地や家屋を提供し

一切の趣味・娯楽も捨てて

また資材を持ち寄ってでも…

《恋慕を懐いて渴仰の心を生じ…一心に仏を見たてまつらんと欲す》

まさに如来寿量品の具現化にほかなりません。

同時に御開山上人も人々の求めに応じて、休むことなく東奔西走され、当初はまったく妙法に無縁だった地にさえも三徳の道場は建立されていったのです。

時間を現代に戻します。奇しくも寺号公称七十年目の今年、新型コロナウイルス感染症により講日・行事を中止することになりました。終戦直後の比ではないとしても、世の中は混乱し、なかなか落ち着きを取り戻すことができません。感染者に対して差別する人、宅配業者に消毒スプレーを噴霧する人、最前線で立ち向かっている医療関係者に対して心ない言葉を浴びせる人、県をまたいで移動してくる車両に危害を加えようとする人など…。自己保身のためにとった配慮のない行動が報道されるたびに、〴〵という時代こそ、思いやりをもって支え合うことが必要なのに…〴〵と思わされます。もしもこの国のすべての人々が三徳の教えを知り、生活の中で実行していくとしたら、お互いにもっと暮らしやすい世界になることでしょう。

新型コロナウイルス感染症は、仏さまが今の時代を生きる私達を鍛えるために課した試練なのかもしれません。法音寺三徳を信仰する私達にも、その信仰のありかたが問われているような気がします。「行住坐臥お題目を唱え、常に感謝と親切を忘れず、一人でも多くの方に三徳をお伝えする。それがあなた達の今世における使命であることを思い出しま

しょう」と、仏さまは私達にメッセージを送っておられるのではないのでしょうか。

「コンクリートの上に種をまくようなもの」と言われた、全く妙法に無縁と思われた地にも、三徳の種をまかれた御開山上人。その教えを受けて、自分のためだけでなく、皆の幸せのために修養道場を支え、広宣流布に尽力した人々。その魂を受け継いで私達は今の時代を生きています。

こういう時代だからこそ、初心にかえって本当の信仰に基づいた生活をしていきたいものです。

私達の心に御開山上人のあの言葉が響いてきます。

「もう一度やり直しましょう。再出発に向けて頑張
りましょう」



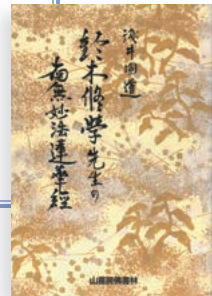


お寺の本棚



『鈴木修学先生の南無妙法蓮華経』は身延山大学の学長を務められた

浅井圓道先生が御開山上人御生誕百年を記念して書き顕された本です。太文字は浅井先生のお言葉です。この本を、もっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。










「何だか有難い。人が頭をさげるから自分も頭をさげるのだ」というような信心は形ばかりの信心であります。老人の寺詣りと言ひまして、行きと帰りは嫁の悪口を言ひあつたり、自分の行ひは悪いが極楽へやつてもらいたいという願ひをする。若い人はどうかといえは商売繁盛するように、樂をして金が儲かるようにと願ひ、さては隣に大きな蔵が建てられた、日があたらぬようになって困つた、はやくこの蔵がなくなるように、ということをお願ひに行く。こんなことをして自分は信心していると言つていますが、これは信心でなくてのろいであります。形は信心のように見えて実は鬼畜の心でありますから、反対に罪惡であります。信心はどこまでも心の建て直しをする信心でなければならぬのです。

欲望の信心というものは、ますます煩惱を増長させ、心の平和、世の中の平和を破るものであります。

(現代生活の指針6〜7)





信仰のしかたの悪い例を出しておられますが、これらは時々私達も見たり聞いたり、時には自分もやってしまったりします。「嫁の悪口」を言って喜んだり、舅の悪口を言って憂さを晴らしたり、「日が当たらぬようになって困った」というところなどは、つまるところは堪忍が足りないということになるでしょうか。「欲望の信心」とはよくぞ言いあてた言葉ですね。

(80頁〜81頁)

自分の身がすなわち仏に成るようになるには、たとえば夫婦同士が、今からでも遅くないから仲良くしてください。夫婦同士がかわいがり合いをいくらやっても税金は余計にとられませんから心配ありませんよ。

そういうふうにお互いに人と人が仲良くして行って、もう地獄へ行くことは避けた方がいいですね。地獄を作ることにはもうやめにして、どうかしてみんなを喜ばせてやろうと考えてください。腹が立つことや怒ることなどは明日にしましょう。明日になったら怒ってもいいから、せめて今日一日は、人が喜ぶようなこと、人のいいところのどこか一つを探しだしてほめるようにしてゆきましょう。

(御開山上人御法話集106)

ここも「今日一日」ということを心掛けるのが大切だ、というお話です。修学先生はこうして繰り返しお話しすることによって、皆さま方の耳にこのことをこびりつかせようとしておられるのです。これを「下種」といって、日蓮聖人も大事にしておられました。

(114頁〜115頁)

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

「ご利用者の気持ちに
寄り添うケア」

本当の思い

私が特養で働くようになって十年が経ちます。その間、さまざまなご利用者、ご家族との出会いがありました。心に残っているのは看取り介護で関わらせていただいた方々です。

中でも忘れられないご利用者がいます。

「あんたのこと嫌いだった」

体調を崩されて気力も落ち始めたころに、その方に頼まれて背中をさすっている最中、そうつぶやかれたのです。さすがに手が止まり、何か意に



いました。それから数時間後にそのご利用者は静かに息を引き取られました。

新人に厳しく、初めは処置もさせてもらえない方でした。怒ると「あんた本当に嫌いっ」と言われることもありました。そんな時に限って医務

沿わないことがあったのかと、尋ねると穏やかな顔で「ありがとつね」
「ただ言われ、そのまま眠ってしまった

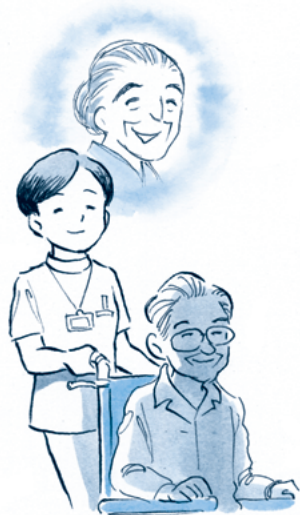
室から出ると扉の向こうで待っていて「帰るんだよね？少しだけ話を聞いて」と一時間程話を聞くこともよくありました。その時は「職員さんにきついこと言っちゃって申し訳ないと思ってるけど、こちらから声がかけれなくて。私はあの人のことかわいいと思ってるのに…」と、自分の気持ちを素直に話してくれることもありました。

特養での生活は集団であり、自宅のように自由ばかりではありません。また、そこで生活しなければならぬ障害もあり、あきらめやストレス、寂しさなどさまざまな気持ちを抱えられています。この方もきっと、そんな自分ではどうにもならない気持ちをわかってもらいたかったのではないか。私は業務に追われこの方に十分向き合えていなかったのではないかと、見送った後にふと心に

浮かびました。人とのつき合いが上手な方ではありませんでしたが、私達の仕事ぶりを見て的確な指摘もされる方でした。本心はわかりませんが『もっと頑張りなさい』と言われているように感じます。このことを忘れず、これからもご利用者の気持ちに寄り添うケアを心掛けていきたいと思えます。

特別養護老人ホーム 安立荘 グループリーダー（看護員）

濱崎 幸代



昭徳会より
お知らせ

令和2年4月より3つの新規事業がスタート

「困っている人を助ける」の意志を大切に

社会福祉法人 昭徳会は、令和2年4月より、新たに3つの事業がスタートしました。いずれの事業も、困っている人を助けるという鈴木正修理事長（法音寺山首上人）の意志を形にした事業となります。

昭徳会の事業は、令和2年4月から、19基幹施設、56事業となりました。これだけ多くの福祉事業を行っている社会福祉法人は、全国を見ても多くありません。今後、困っている人を助けるという、社会福祉法人としての役割を果たせるように努めて参ります。



困っている人に手を差し延べたい



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,400名を越える人達のお世話をさせていただいています

福祉のすべての分野を支え、
利用者さんの幸福を
実現します



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を越える人々に日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに寄り添っています

高齢者施設 ケアハウス湯山安立



要支援1から要介護5の介護認定を受けている高齢者を対象とした介護施設です。

高浜市にある介護付きのケアハウスで、2004年から2020年3月まで、別の会社が運営していました。しかし、突然、2019年度で施設運営から撤退することになり、入居している高齢者の生活の場、そこで働く職員の雇用が、突然に失われることになり

ました。このような状況から、長年、福祉活動に取り組んできた昭徳会に、高浜市より事業継承の依頼があり、2020年4月より、昭徳会が運営することになりました。

居室は全室個室で、居室内にトイレ、洗面所があり、自分一人の空間を大切にすることが出来ます。一步、居室から出ると、フロアには多くの方が思い



思いに過ごされており、安心した生活を送ることが出来ます。

今回の事業継承により、前運営会社より、16名の職員が昭徳会の仲間になりました。これまでの施設の良いサービスを大切にしながら、昭徳会がこれまでの経験から培った「認知症予防」「自立支援」のノウハウを生かし、より良いサービス提供に努めていきます。



施設の入居をご希望される場合は、施設にご連絡ください。

☎(0565)5415011

小西・前田

駒方保育園分園



0歳児から2歳児を対象とした
定員18名の保育園です。

駒方保育園は、昭和12年に開設し、昭和57年より、法音寺の北側に鉄筋コンクリート2階建ての園舎に改築され、多くの園児達の成長を見守ってきました。

名古屋市は、2019年4月に「6年連続で待機児童ゼロ」と発表しました。

たが、希望する保育園に入れない「隠れ待機児童」は増加している状況でした。このことは、昭和区においても大きな課題となっており、保育所の整備が強く求められていました。そのため、0歳児から2歳児を対象とした「駒方保育園分園」を開園することになりました。



天気の良い日は、分園の近くにある公園に出かけて遊ぶこともあります。屋内でも伸び伸びと遊べるように、開放的なフロアになっています。

駒方保育園本園で勤務していた保育士が、分園の保育を行っています。

駒方保育園分園の取り組み等につきましては、法音8月号で紹介させていただきます。

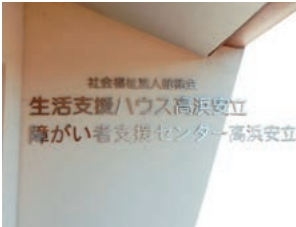


障がい者支援センター高浜安立



「障がい者支援センター高浜安立」の外観。
昭徳会が運営していた「生活支援ハウス高浜安立」の建物を活用しています

これまで、高浜市では地域に暮らす障がい者の相談支援は、高浜市のみで対応をしていました。しかし、年間の相談件数は、2017年度は1,000件でしたが、2019年度には、2,000件を超える状況となり、地域で暮らす障がい者に対して、高浜市のみで対応することが困難な状況となっていました。このような状況から、高浜市より昭徳会に「障がい者支援センター」の運営について要請があり、地域の障がい者の皆さんの生活を支えるため、事業を引き受けることになりました。



体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病等対象者の皆さまが、障がい福祉サービスを利用しながら、地域で安心して生活ができるように、相談支援を行っています。



私達が、障がい者支援センターの職員です。高浜市に住まいの身



学園創立記念日に創立者鈴木修学先生の墓参を執り行いました

～日本福祉大学～



写真提供・日本福祉大学

6月6日(土)、学園創立記念日の日に、墓参を執り行いました。学園創立記念日は、創立10周年の際に、創立者・鈴木修学先生の遺志を継いでいく決意を込めて、ご逝去された前日の6日とされました。

例年は、大学・専門学校・付属高校・事務局の役職者、新任教職員など約60名が参列していますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参列者を20名弱に絞り、ソーシャルディスタンスを確保した形で執り行いました。

6月に入り急に夏日が続き、この日も暑さが心配されましたが、程よく風も吹くすがすがしいお天気のもとで執り行うことができました。

読経とお焼香の後に、鈴木正修学園長よりご挨拶をいただきました。

「現在、私達は新型コロナウイルスにより国難とも言える状況に直面しております。修学先生もそのご生涯の中で多くの苦難に遭われ、それを克服されました。その源は当然不屈の努力、精進であります。忘れてはならないのは、先生の明るさ、ユーモア精神だと思います」と述べられ、生の松原でのエピソードを紹介されました。

すべての持ち物をお金に換えて、ハンセン病の患者さんと博多どんた



くに行かれた後、修学先生は「もうこれで何もないな」とひと笑いされた後、「暗くなっ
てはいかんから、皆で歌でも歌おうか」と得意の琵琶を弾かれたとのこと
です。

「新型コロナウイルスの影響により、こうした閉塞した状況の時こそ、修学先生のような笑いやユーモアというものが必要かと思えます。あのアウシユヴィッツから奇跡の生還を果たしたヴィクトール・フランクルも言っています。『強制収容所の中で、ユーモアは魂の武器のようなものであった』と。我々も、こういう時こそ、笑いとユーモアを特に大事にしていきたいと思います」と述べられました。

続いて、丸山悟理事長のご挨拶。

「コロナ禍の下、私達は例外なくすべて、建学の精神

にある『悩める時代の苦難』を背負いました。この苦難はまだ続きます。苦難の渦中にあって見聞きし、体験したことを踏まえて、ここで学習したことを次につなげる力にしたいと思っています」

例年、墓参後は法音寺に移動して、新任教職員を対象とした『学園長講話』を行っておりましたが、今年
は残念ながら、中止となりました。

創立記念日にあたって、今一度「建学の精神」に立ち
返り、創立者の遺志、学園の歴史にふれ、存在意義
を考えることが大切だと考えています。

とりわけ今のこのコロナ禍においては、90年も前のことですが、修学先生がハンセン病の方々の支援にあ
たられていた歴史は、身に迫ってくるものがあります。
現在でも生じている差別や偏見を考えると、修学先生
が立ち向かわれた困難がいかなるものであったか、少
し理解が深まった気もしています。

先行きの見えない中でも、明るさ、ユーモア精神も
忘れずに、WITHコロナ、AFTERコロナの社会
を見据えて人材育成に取り組む重要性を、胸に刻む日
となりました。

理事長・学長室 中村 友美

幸せの種まき 感謝と親切

私達一人ひとり

仏さまの世界に生かされています

人は誰も尊い命を有しています

それぞれ独自の役割があり

お互いに助け合って生きています

大乗山 法音寺

編集後記

日蓮宗昭徳教会が「大乗山法音寺」となったのが昭和25年7月のこと。つまり法音寺はこの7月で寺号公称七十年目を迎えます。

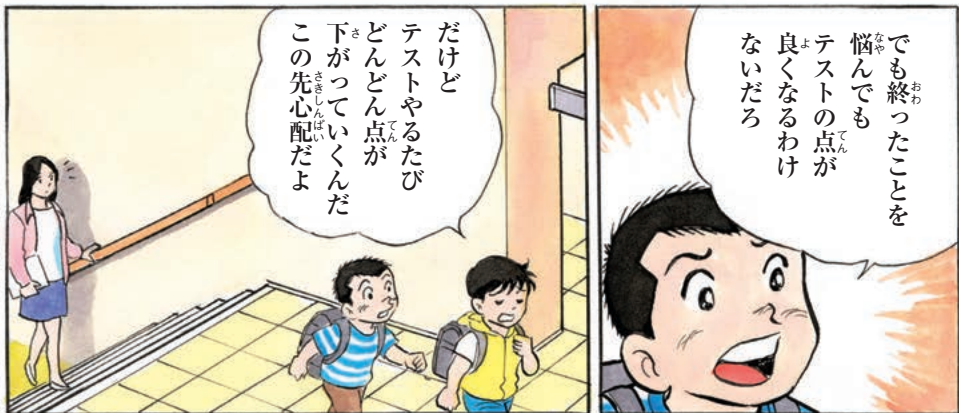
昭和18年に宗教活動が停止され、翌年から組織の名称は大乗報恩会から昭徳会へと変わっていました。その後、戦争が終わり、待ちわびた宗教活動が再開され、「大乗」という言葉が戻ってきたのです。「大乗山法音寺」の名は、どれほど人々の心に心地良く響いたことでしょう。今月号では宗教活動再開当時の人々の喜びにあふれた様子を特集しました。

五百坪の土地と大乗会館を財団法人昭徳会から受け継ぎ、改修して使用することになった本堂。舞台は宝前に姿を変え、荘厳な仏具で飾られました。その年には改宗を希望する人が続出し、その数は二百世帯を越えたのだとか。当時の人々の喜びが伝わってきます。

さて、例年なら御開山会団参記事などもあつて賑やかな7月号。新型コロナウイルス禍で講日や行事を中止したため、「支院だより」の稿が少ない号となりました。七十年前、人々が希望に満ちあふれて信仰を再開したように、私達も新型コロナウイルス禍を乗り越え、もう一度やり直すような気持ちで信仰に取り組みしましょう。

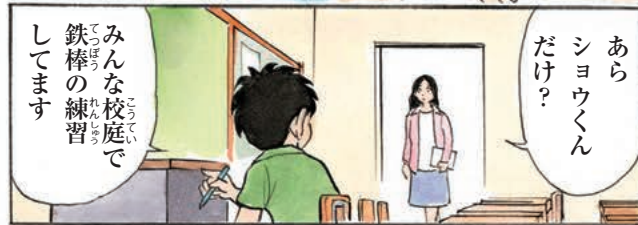
む だ む り 無駄と無理

竹中 淳







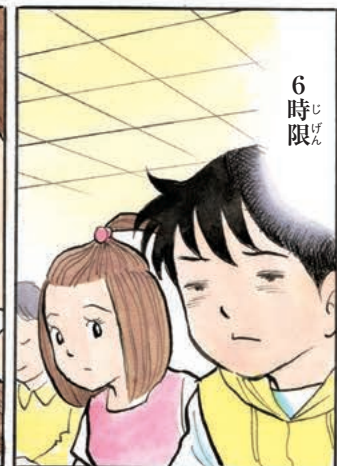
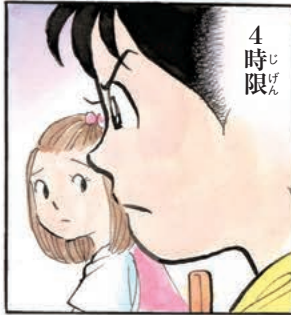


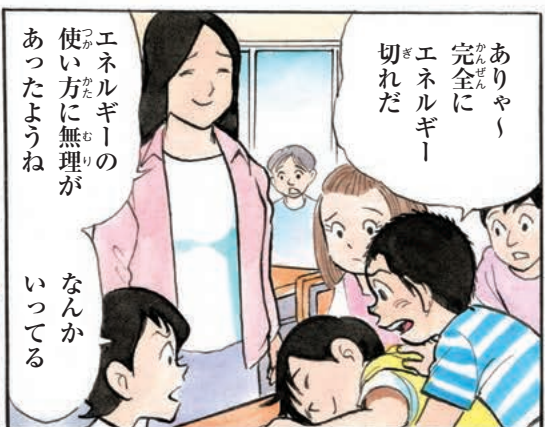
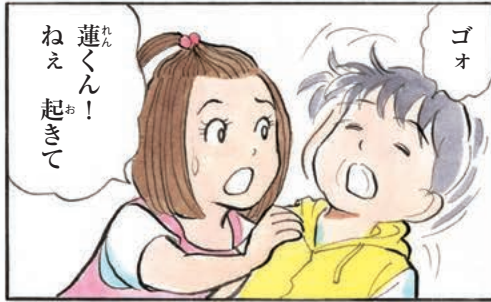


いい？
こういう式は
カッコの中を先に
……
そうそう

ここも
かけ算わり算を
先に……やってごらん







おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和2年7月号・No.609・令和2年7月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社